

研究協力をお願い

昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

病院薬剤部門におけるがん患者に対するコミュニケーション事例に関する多施設共同前向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

本研究は、研究開始から1か月の間で昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学北部病院、昭和大学藤が丘病院においてがん治療を受けた患者さん（研究開始時期は病院によって異なるものの、2022年5月～2023年3月の間の1か月間を想定）。

2. 研究目的・方法

本研究では、がん患者さんにおける治療中での病院薬剤師と医師等の等医療従事者間での薬物療法に関する問い合わせなどのコミュニケーション事例を収集することを目的とします。

具体的には、薬を飲む日付や投与量などの問い合わせなどとなります。薬剤師のコミュニケーションによって、間違いに伴う身体的な影響の回避に至った「ヒヤリハット事例」を含めたコミュニケーション事例、またこのようなコミュニケーションが行われた時に入院や通院されていた同じような患者さんの情報を比較のために収集します。

得られた情報は、患者さんの氏名、診療録のIDなどの個人を特定しうる情報を削除した上で、コミュニケーション事例の発生率、コミュニケーション事例が発生しやすい傾向や時間などを分析に活用させていただきます。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日までです

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、抗がん薬の種類、処方された時間、がんの種類、その他がん治療以外に使用している薬の情報。

4. 外部への試料・情報の提供

情報公開の際には、個人の情報が分からないように処理します。試料は用いません。各病院で収集された情報は、診察券番号の代わりに研究用の別の番号を付し、研究事務局（大学病院附属東薬局、統括薬

剤部)の各担当者へパスワードロックした上、メールで送信されます。同情報は、内容のチェックを行い、分析します。情報は、情報を収集した病院と事務局内のみで共有し、それ以外とは共有しません。

5. 研究組織

【研究代表者】

昭和大学病院附属東病院

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 助教 高橋伸幸

【研究機関/研究責任者】

昭和大学統括薬剤部/薬学部病院薬剤学講座 准教授 百 賢二

昭和大学病院

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 准教授 縄田修一

昭和大学江東豊洲病院

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 講師 大戸祐治

昭和大学横浜市北部病院薬剤部

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 講師 市倉大輔

昭和大学藤が丘病院薬剤部

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 准教授 藤原久登

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

昭和大学薬学部病院薬剤学講座 講師 島本一志

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学統括薬剤部/薬学部病院薬剤学講座

氏名： 百 賢二、内倉 健、高橋 伸幸

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話：03-3784-8467（昭和大学病院薬剤部内）

研究代表者：昭和大学病院附属東病院 昭和大学薬学部病院薬剤学講座 助教：高橋 伸幸